

聖獣の象徴といわれる白い象に乗った普賢菩薩。普賢の「普」は、「あまねく」という意味で、ありとあらゆる世にあらわれて、仏の慈悲と理知により、人々を救う賢者であることを意味しています。また、長寿、延命の大きな功德により、古来より特に民衆の篤い信仰を集めてきました。

理知の普賢、聖なる白象、
巨匠の妙技をここに。

帝室技芸員
たかむら こううん
高村光雲・作

普賢菩薩
ふげんぼさつ

白象半跏
はくぞうはんか

本金粉手彩色ブロンズ作品



慈愛溢れる菩薩像と生気みなぎる白象。

その静と動が織りなす造形の美を、光雲がもてる技の限りを尽くして彫り上げた傑作。

まさに近代彫刻の祖・光雲の技を堪能できるブロンズ作品です。

どうぞお手許でご堪能ください。

Art Days

上野公園の西郷隆盛像や皇居前の楠木正成像など、数々の芸術作品でしられる巨匠・高村光雲は、その卓越した造形力と芸術性で、近代彫刻史上に今なお不滅の光彩を放ち続けています。

〔高村光雲と普賢菩薩〕

仏師に弟子入りして修業した光雲は後に動物の姿形や動きを研究し、仏像だけでなく多くの動物彫刻も残しました。代表作「鸚鵡」は宮内庁買い上げ、「老猿」(重要文化財・東京国立博物館蔵)は

明治26年(1893)シカゴ万国博覧会に

出品、優等賞を受賞するなど、その卓越した造形力は群を抜いていたといえます。なかでも「白象半跏 普賢菩薩」は、気高く存在感あふれる聖なる象と、ゆるやかな曲線で仕上げられた神秘的な仏様とが調和しながら一体化した、光雲の技の極みを感じさせる逸品です。



写真提供: 国立国会図書館HP

作品と桐箱、光雲の落款2つが揃い、
光雲原型による真正の作品であることを証明。



所定鑑定人である高村家の承認により、作品本体の背部には光雲の落款が写されています。さらに、桐箱の蓋裏には高村家の正式許可を受けた証として、光雲の落款が押印されています。これにより、本品が高村光雲の原型により制作された優れた仕上がり真正オリジナル作品であることを証明しています。



▲本体の落款

- 作品寸法(約):高さ21×幅25.5×奥行15センチ
- 重さ(約):2.4キロ
- 材質:ブロンズ(本金粉手彩色仕上げ)
- 題字・落款入り高級桐箱(約28.4×18×25センチ)
- 黒塗り台(30×20×1.8センチ)
- 詳細解説書付
- 製作:黒谷美術(株)
- 販売:(株)アートデイズ

※本品は受注生産ですのでお届けまでにお時間をいただく場合もあります。ご了承ください。

税込価格 **220,000円** (本体 200,000 円+税 10%)

株式会社アートデイズ 〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-5 四谷テアールビル2F HP <http://www.artdays.co.jp>

お問い合わせ
お申し込み

電話 ☎ 03-3353-2298 (平日10時~18時)

FAX FAX 03-3353-5887

メール info@artdays.co.jp